

Gifu Keizai University **GKUN** 岐阜経済大学マガジン

vol.
76

2010.AUGUST



- ⑥ 輝け!アスリートたち
- ⑧ キャリア支援課だより
- ⑩ 研究室だより
- ⑪ 教育最前線「地域の調査研究に励んでいます」
「大垣商工会議所で協定調印」
「大垣市体育連盟と連携協定」
- ⑫ キャンパス彩々
- ⑭ 決算報告
- ⑯ 父母懇談会 / かがやきカレッジ / 役員改選 / 後期受講登録

【特集】②

岐阜経済大学の実習・体験型授業 による学びの効果

岐阜経済大学の 実習・体験型 授業による学びの効果



本学では、学生の実習・体験型授業を積極的に取り入れています。
新入生対象のフレッシュマン・エクスカージョン、教育実習、
体育授業サポーター制度、課外体育サポーター制度、
地域フィールドワーク、福祉施設での実習、
企業人育成コース関連のインターンシップ、
海外語学研修制度、異文化体験旅行と多種多様です。
今回は企業人育成コース、海外語学研修、教育実習、
福祉施設での実習に焦点をあてて紹介します。



本学での実習・体験型授業の 事例紹介

- 学内ゼミナール大会
- インターンシップ
- 体育授業サポーター制度、
課外体育サポーター制度
- 新入生に対するフレッシュマン・
エクスカージョン
- リーダーマナー研修
- プレゼンテーション実習
- 大垣情報ネットワーク研究会での
学生の研究成果発表
- マイスター倶楽部活動、成果発表会



企業人育成 コース

本学では、経済学部経済学科に特別コースとして、企業人育成コースを2009年春に開設しました。このコースは、「企業と協力連携して岐阜県の産業界で活躍したい人を育成し、支援する」ということを目的に作られたコースです。このコースの学生は岐阜県の有力企業に協力いただき、企業の経営者から直接講義を学び（地域企業研究講座）、その企業の調査結果について発表会を行い、実際、インターンシップで企業を肌で感じ、理解し、コースの修了者を協力企業に推薦されることによって、その就職を強力に支援します。



カリキュラムの特色 と 期待される効果

- 協力企業の派遣講師による「地域企業研究講座」の開設
▶協力企業の考え・活動を知る
- 協力企業を対象に調査研究、発表会を実施 ▶協力企業を調べ、深く知る
- 協力企業でインターンシップを実施 ▶協力企業を肌で感じ、理解する
- 演習は1年次より一貫指導体制を採用 ▶徹底した個人指導による質の保証
- 協力企業の研究に必要な語学力を身につける
▶グローバル時代のコミュニケーション力を養成
- 海外語学研修、異文化体験旅行の実施 ▶国際的な視野をもつ

協力企業

イビデン(株)	太平洋工業(株)
揖斐川工業(株)	太平洋精工(株)
(株)大垣共立銀行	(株)デリカサイト
大垣信用金庫	東海サーモ(株)
河合石灰工業(株)	(株)トーカイ
サンメッセ(株)	(株)文溪堂
(株)十六銀行	(株)丸順
西濃運輸(株)	矢橋工業(株)
(株)セリア	

企業人育成コースの授業「地域企業研究Ⅰ」の講師として、以下の方が講義を行いました。

○株式会社トーカイ

代表取締役副社長 大野隆章氏

○株式会社セリア

総務部部长 平野義幸氏

商品部部长 田中正弘氏

○株式会社デリカサイト

代表取締役 Founder 堀富士夫氏



株式会社セリア
総務部部长
平野 義幸 氏



株式会社セリア
商品部部长
田中 正弘 氏



株式会社トーカイ
代表取締役副社長
大野 隆章 氏



株式会社デリカサイト
代表取締役 Founder
堀 富士夫 氏



- ソフトラビア共同研究室活動、成果発表会
- 介護実習、ソーシャルワーク実習
- 諏訪中央病院見学
- 演習・留学生別科での施設・企業訪問
- 例1 石原・木村教授の基礎演習のアクア・トトぎふ訪問
- 例2 木村教授基礎演習の(株)デリカサイト訪問
- 例3 留学生別科のわさび園、菖蒲園の見学
- 例4 高大連携出張講座
樋下田准教授演習の
揖斐高校との福祉マップ作り

語学研修をふり返って

吉村 司

経済学科4年(石川県大聖寺実業高校出身)

初めての海外旅行がこの語学研修でした。しっかりと英語を学んで帰らないといけないと思いつつも、内心ワクワクしていました。パスポートを作ったり、ハワイでの生活の仕方などを考えたりと、あっといふまに日は過ぎてしまい旅立つ日になりました。私は飛行機に乗るのも久しぶりで、7時間のフライトは大丈夫なのだろうか、客室乗務員は日本語でいいのだろうか、と不安が山ほどありましたが、客室乗務員の方の中に日本人の方もいらっしゃいましたので困ることなく空の旅を満喫できました。ハワイは思っていた以上に日本人旅行者がいて、なんとというか安心感が湧きました。ハワイの方々の中にも日本語を喋れる人もいて勘違いしてしまいそうなくらいでした。

ハワイ大学での授業は少人数で10~13人程度で、母国語の使用は厳禁で評価対象になりました。Basicクラスに面接でクラス分けされ、授業中の会話は英語だけで行われ、教科書にそって進んで行きました。内容自体は難しくないのだけれど、聞いたことのない単語や、日本語ではわからないのだけれど、聞いたことのないのがわからず、授業を止めたりもしました。それでも、先生は怒ったりせず、逆に違う表現の言葉で教えてくれたり、とてもわかりやすく優しく接してくれました。クラスの人たちはほとんどが日本人で歳も近く、すぐに仲良くなれました。こういう授業の空気はとても楽しく学べるなと思いました。

勉強もかねて、観光地にでかけたりもしました。ダイヤモンドヘッド、マカプー岬、ホノルル、ワイキキ、とても素晴らしい所でした。もっと観光して、現地の方々と積極的に会話したくなるような英語力を身につけていたら、倍楽しめたのかなと思います。

ハワイで3週間の生活を送って、英語に直に触れ、使ってみて、身にしみて、英語をもっと学びたいと思いました。これから、英語は必ず必要になりますからこの経験が無駄にならないように、英語が身につけられたらと思います。



UH(University of Hawaii)の紹介

棟田 雅也

スポーツ経営学科3年(福井県福井商業高校出身)



【語学研修を振り返って】
このハワイ短期語学研修は、自分にとってかけがえのない経験になりました。たった3週間とは言え、日常生活がすべて変わった環境での3週間はまったく意味が違ってきます。言葉も違えば、法律も違います。また、通ルールや常識的行動も違います。これは、ハワイに来る前から知ってはい

ましたが、実際にそのような立場に立った時、不安と孤独感でいっぱいになりました。買い物などでも自分が思っていることを伝えられません。そのため、どこかあるか聞きたい時なども手こずり、日本で買った物を持ち、倍以上の時間がかかりました。悔しさと、もどかしさばかりが毎日続きました。このようなことがあって、ハワイ短期語学研修に行く前よりも「もっと英語がしゃべれるようになりたい!」この気持ちを強く持つようになりました。英語は、中学の頃から7年ほど学んできたので、ある程度は通用すると思っていました。ハワイに行き、現地の友達と話をしてみれば、聞くことも伝えることもできませんでした。そのため、学校で学べる範囲は限られていて、本場の英語を聞き、発音をしっかりと練習しないことには、意味がないと感じました。

【ハワイ大学での研修】

ハワイ大学での授業は、とても充実した時間を過ごせました。まず、日本語が使えません。これが何より大きいです。また、先生も英語しか喋りませんので、意味を理解するのに苦労しました。しかし、意味がわからない単語などを質問すると、やさしい英語に直してくださったり、私が理解するまで熱心に教えてくださいました。グループワークやペアワークなどを主体的に行いましたが、その時も英語で相談したり、話をします。日本人同士の間には妥協しそうな時もありますが、辞書を使ってでも英語で説明します。このように英語の単語の意味を英語で理解します。こんな経験は日本では体験できないでしょう。理解できた時のうれしさは計り知れません。また、授業の中でハワイ大学の学生と話す機会が何回もありました。年齢が近いので、どんなことでも質問でき、不安だった時に勇気をもらうことができました。そこで、岐阜経済大

学も中国の大学と交換留学生を迎え入れているのであれば、そのような制度や授業内容を取り入れるのもよいのではないかと思います。やはり、現地の人と話す機会を増やすことが何より語学力の向上につながると思います。

日本を出て、海外から日本を客観的に見るのができました。日本は、全てに親切であり、ハワイに行くことさえ、バスに不満を感じる時がありました。それは、言葉の壁があり、そう感じてしまったのかも知れませんが、日本は、メニューなども写真などがついていてわかりやすく、対応も丁寧です。その分、ハワイの街の人々は愛想がいいです。ただ、歩いてるだけで声をかけてくれたり、大学を探索していても「何かわからないことがあったら言ってね。」などと声をかけてくれます。目が合えばニコッと笑ってくれたり、迷っているような行動をしていると「どうしたの?」などと声をかけてくれるなど、日本ではあまり見られない光景が多々ありました。これを機に自分も交換留学生などと顔を合わせる機会や海外の人に会ったときは、どんどん声をかけていこうと思います。

【語学研修への提案】

一つ、岐阜経済大学のナイスプログラムへ提案があります。それは、ホテルでの滞在をやめるというところです。自由感や自立感からすればホテルの方がよいでしょう。しかし、語学研修という視点から見れば、ホームステイの方が語学力は伸びると考えます。私は、友達の家でホームステイに招待していただき、夕食を共にしました。また、イベントにも招待していただき、とても楽しい日々を過ごしました。こんな経験は、ホテルの滞在では経験することができません。ホームステイだから経験できることです。海外での日常生活や日常会話を共にすることにより、異文化理解もさらに深めることができます。この語学研修もより深いものになると考えます。そこで次、自分が長期的に海外に行くことがあれば、ホームステイをしたいと思います。

これらのことをすべてをふまえ、ナイスプログラムに参加させてくださいました関係者、事前研修などをしていただきました先生方、ナイスプログラムで授業してくださいました先生方などに感謝し、この経験が無駄にならないよう、努力を続けていきたいです。



教育実習を終えて

大山 すみ子

スポーツ経営学科4年
(三重県 尾鷲高校出身)



私は5月31日から6月18日までの3週間、母校である三重県立尾鷲高等学校で教育実習を実施しました。私の実習教科は保健体育で、1週間の持ち時間

は体育10時間、保健2時間、授業見学3時間、LHR(ロングホームルーム)1時間の計16時間が予定されていました。尾鷲高等学校は各学年、普通科4クラス、情報ビジネス科2クラス、STEM工学科1クラスから成り立っており、私は情報ビジネス科専攻の2年6組のHR担当になりました。

教育実習が始まるまでは緊張と不安で、出来ることなら教育実習に行きたくないと思っていました。実際に実習が始まってからも緊張で胃が痛い日や、落ち込んだ日もありましたが、生徒が笑顔で「先生おはようー」と一言声をかけてくれるだけで、今日も1日頑張ろうと思えました。

授業見学では先生によって授業の方法も違い、またクラスによって授業の雰囲気も違っていたので、驚きや発見の連続でも面白かったです。実習期間中に行われた体育祭を通してはクラスだけでなく、学年の団結力も見ることが出来ました。自分は体育祭も授業も、高校時代は何も考えずに受けていましたが、1時間の授業や年に1度きりの体育祭の為に教師がかかる時間は計り知れないと学びました。しかし生徒の為にならどれだけでも時間をかけられると感じました。



大山さん

私が授業を行った際には、私自身も分からないことばかりで生徒たちにはたくさん迷惑をかけてしまい、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。この実習では、伝えたいことを簡潔に相手に伝えることの難しさを痛感しました。伝えたいことが多すぎて説明が長くなってしまっても多々ありましたが、生徒たちは私の言葉をなんとか理解しようとしてくれました。この3週間、生徒の温かさだけでなく、残りたかわかりません。生徒たちのお陰でこの3週間を楽しく乗り越えることができ、本当に感謝しています。私が生徒たちに与えられたものは全くなかったのかも少しは数多くありました。3週間という期間は短く、やり残したことが多々あります。もっとも生徒たちと一緒に過ごしていたいと思えるほど充実した日々を過ごすことが出来ました。この3週間での経験は私にとって一生忘れることの出来ない、かけがえない宝物です。

介護実習を通して学んだこと

三島 牙加

「ミニミニ」福祉政策学科
(現臨床福祉「ミニミニ」学科)4年
(愛知県 碧南高校出身)



私は3段階までの介護実習を通して、色々なことを学びました。その中でも特に3段階目に行いました、養護老人ホームでの実習が印象に残っています。養護老人ホームには自立している方が多く、声掛けの方法の難しさを感じました。

私が担当させて頂いた利用者の方は糖尿病で運動が必要なのですが、職員が付き添いがないと外出が出来ない方でした。しかし、職員の方もあまり時間の余裕がなく、なかなか外出は出来ていませんでした。そこで、運動をしてもらうため、私の介護計画に「散歩」を取り入れ、職員の方にもお願いして利用者の方を散歩に誘うことにしました。

計画を実施する日の午前中に散歩の約束をしておいたのですが、午後になり散歩に誘うと、私ができるように声をかけても、「さっきもう一人で行ったから行かない。」などと言われ、利用者の方を動かす気持ちはさせることが出来ませんでした。ところが職員の方は、利用者の方に「そこのお店まだ私行ったことないから連れてって。」と声をかけていたところ、利用者の方は、すぐに動きだしたので、自分の力不足をとて感じました。後で職員の方に話を聞いたら、「動いてもらおう」とか、「動かせよう」と思っていたら、「自分も一緒に動いて、それに付き添ってもらう」という気持ちで声をかけないと利用者には伝わらない。」と教えて頂きました。その日以降は言葉遣いに気をつけて声掛けを行ったら、利用者の方から「今日は散歩行かないの？」など、声をかけてもらえようになり、満足いく実習を行うことができました。

利用者との関わりによる自分の成長

衣斐 美奈穂

「ミニミニ」福祉政策学科
(現臨床福祉「ミニミニ」学科)4年
(岐阜県 不破高校出身)



私は、特別養護老人ホームの実習に行きました。実習が3段階目ということで利用者の方に初めから、スムーズに話す

ことが出来ました。ラジオ体操の時、ただ、手を動かしてやるのではなく、利用者の方を見て笑顔で行いました。それによって手を動かしていい方が、笑顔で参加してくれました。ラジオ体操に参加していい方には声をかけましたが、「やりたくない」と断られました。しかし、毎日声かけをしたことによりその方が参加してくれるようになりました。私は、一度断られて諦めるのではなく、続けていくことや、利用者の方と関わりを持ち、信頼関係を築いていくことが大切だと感じました。また、声かけが、いかに大切かというのを感じました。入浴時、シャワーの温度が利用者の方にとって適温かどうか声かけをしないと分かりません。また、食事の時も、利用者の方が今、何を食べたくて、次、何を食べたいのかも声をかけないと分かりません。すべてが声かけと結びつくので大切だということを感じました。

私は今まで、疑問に思っていた職員の方に聞くことが出来ませんでした。しかし、今回の実習で分からない事が聞けるようになりました。職員の方は、私たちの中では当たり前になっている事でも、しっかりと利用者の方に伝えていました。ちょっとした気遣いが大切だと学びました。実習をして、いろいろ学び、成長できたと思います。



硬式野球部

BASE BALL

2010年度 岐阜学生野球 春季リーグ戦を終えて

最終成績 **準優勝**
8勝4敗 勝点3

輝け!
アスリートたち

今春のシーズンは、朝日大学に連勝し幸先のよいスタートをきり、優勝チームである中部学院大学の一回戦まで5連勝と期待が膨らんだものの勝点が奪えず準優勝に終わりました。

投手亀田裕平さんは、9試合に登板し、7試合を完封もしくは1失点（1試合はリリーフ）という見事な投球をみせました。チームとしても個人表彰に過去に類をみない多くの選手を輩出することが出来ました。

昨年の悔しさをバネに上級生が日々の練習のリーダーとなり、主将尾崎晋太郎さん（スポーツ経営学科4年 常葉学園菊川高校出身）を中心とした頑張りのおかげで、この結果であった感じがします。

岐阜学生リーグの各大学の實力は拮抗し、年々ハイレベルなリーグ戦を展開しています。息を抜かず神宮出場を念頭に部員一同頑張ってください。今後とも変わらぬご声援をお願いします。

個人 受賞者の コメント



ベストナイン三塁手

伊藤 匠さん

経済学科1年
(三重県 海星高校出身)

1年生なのでただガムシヤラにリーグ戦を戦い抜きました。結果ベストナイン賞を取ることができましたが、チームが勝つことを第一目標に秋季リーグ戦に臨み勝利に貢献したいです。



敢闘賞
ベストナイン捕手

田原 靖彪さん

スポーツ経営学科2年
(岐阜県 大垣日本大学高校出身)

4年生を中心にミーティングを多く行い、その中に自分もいたことが精神的にも強くなれた一因でもあるような気がします。個人の課題、チームの課題も多く一人一人の意識を高め課題の克服が必要です。自分に更に厳しくやっていきます。



最優秀投手賞

亀田 裕平さん

スポーツ経営学科4年
(滋賀県 甲西高校出身)

昨年末からの練習・指宿キャンプと肉体的、精神的にも自分自身を追い込んだ賜物だと思っています。学生生活最後の秋のリーグ戦では登板した試合はすべて勝つという強い気持ちで臨みます。



ベストナイン外野手

吉田 勁太さん

スポーツ経営学科2年
(静岡県 静清高校出身)

厳しい練習に耐え、やってきた事が結果としてあらわれて嬉しく思っています。しかし、現状に決して満足せず神宮出場という目標に向かってチームの為に自分ができる事を精一杯やっていきたいと思えます。



ベストナイン遊撃手

吉本 将斗さん

スポーツ経営学科1年
(香川県 藤井学園寒川高校出身)

初めてのリーグ戦で目標以上の結果がでたリーグ戦でした。高校時代からの積み重ねでもあり、先輩方に支えて頂いた結果であると思います。秋のリーグ戦ではチーム・個人としてもさらに上を目指して頑張ります。



▲左から伊藤さん、田原さん、亀田さん、吉田さん、吉本さん



男子バレーボール部 MEN'S VOLLEY BALL

男子バレーボール部 1部昇格

「私達男子バレーボール部は、東海大学リーグ春季大会で2部から1部へ昇格しました。念願の目標を達成することが出来ましたが、これからの本学男子バレーボール部の時代を築いていくためにも秋季大会では1部を死守し、12月の全日本インカレでも結果を残していきたいと思えます。1・2年生だけの若いチームですが、チーム一丸となって、これからも日々精進していきたいと思えます。」

米村キャプテンの抱負

米村和也さん

スポーツ経営学科2年(岐阜県岐南工業高校出身)

他大学は4年生中心のチーム構成であるのに対し、本学は1・2年生のみのチーム構成で臨んだ今季リーグ戦でした。この状況の中で2部リーグを制し、1部リーグ昇格を果たせたことは、大きな一歩であり、今後の更なる躍進に期待したいと思います。



◀800m準優勝の久我アレキサンデルさん



陸上競技部 TRACK AND FIELD

神奈川県平塚市総合公園平塚競技場
2010.6/18-20

福岡県博多の森陸上競技場
2010.7/2-4

800mで全国3位!!

日本学生個人選手権大会

男子800m決勝 記録 1分53秒53

3位 久我 アレキサンデル
スポーツ経営学科3年(兵庫県 淡路三原高校出身)
*3年連続入賞、表彰台は初めて

西日本学生対抗選手権大会

男子800m決勝 記録 1分55秒17

準優勝 久我 アレキサンデル
*3年連続入賞、昨年に続き表彰台

4×400mリレー決勝 記録 3分13秒24

7位 水野 慎也
スポーツ経営学科1年(岐阜県 大垣工業高校出身)
田中 翔也
スポーツ経営学科1年(兵庫県 飾磨工業高校出身)
久我 アレキサンデル
小熊 翔一 経済学科3年(愛知県 栄徳高校出身)

4×400mリレー ▶
左から水野さん、田中さん、
久我さん、小熊さん



ボート部 BOAT



ボート部員が 千葉国体代表に選出されました

本学ボート部堀田未希さん(スポーツ経営学科4年 鈴鹿高校出身)が2年連続で国体のボート競技の代表に選出されました。
堀田さんは、6月26日(土)、27日(日)、川辺ボートコースでの国体ボート競技・岐阜県予選会に出場し、成年女子舵手つきクオドルブルの岐阜県代表に選出され、7月18日(日)、第65回国民体育大会東海地区予選会に、同競技の岐阜県選抜クルーとして出場し、接戦の末、国体東海地区代表の座を勝ち取りました。
第65回国民体育大会は、9月25日(土)〜10月5日(火)にかけて、千葉県で行われ、ボート競技は9月26日(日)〜29日(水)小見川ボートコースで開催されます。



女子バレーボール部 WOMEN'S VOLLEY BALL



勝俣康之コーチが就任

勝俣康之コーチは、中学・高校いずれも全国大会で優勝という輝かしい成績を修め、順天堂大学進学後も関東大学男子1部バレーボールリーグで優勝し、ベストリベロ賞を獲得するなど選手として大変活躍されました。
2007年からは、同大学男子バレーボール部コーチとしてチームを1部リーグ準優勝に導き、また2009年は同大学女子バレーボール部監督として関東大学3部リーグで優勝し2部昇格を決めるなど、指導者としても輝かしい活躍をされています。
2010年6月より本学女子バレーボール部コーチに就任し、指導にあたられます。

内々定 学生の声

長野県



井澤 悠介さん
郵便局株式会社内々定

経済学科4年 飯田風越高校出身

6月下旬、郵便局株式会社窓口営業コースから内々定を頂きました。ゼミで金融について学んでおり、金融関係の仕事に携わりたいと考えていましたし、窓口営業コースは様々な形でお客様の役に立てるので、内々定を頂きとても嬉しかったです。

私の就職活動は、正直あまり良いものではなかったと思います。多くの企業にエントリーした訳でも、早い時期から活発に活動していた訳でもないのに、「なんとかなる」という甘い考えを持っていたからです。しかし3月下旬に受けた地元の信用金庫が一次試験も通らなかったことで、一気に危機感が生まれました。今では、このことが自分の就職や将来について改めてしっかり考える機会を与えてくれた良い経験だったと思います。

就職活動をしていく中で、キャリア支援課のスタッフの方々にはとてもお世話になりました。特に面接練習は、本当に受けて良かったです。面接練習のおかげで自信を持って面接に臨み、採用担当の方々に落ち着いて自分をアピールできたことが今回の内々定につながったと思います。その他にも履歴書の添削やアドバイスなどを熱心にして頂き、常に私の大きな支えになっていただきました。後輩のみなさんには、キャリア支援課を早くから利用することをオススメします。

今後は社会人になる準備をしっかりとしつつ、友人たちとより多くの思い出を作り、残りの学生生活を満喫したいと思います。



岡本 遼さん
新日本ガス株式会社内々定

スポーツ経営学科4年 飯田工業高校出身

私は就職活動において、多くの苦労をしました。しかし、その分多くの喜びもありました。

就職活動を始めたころ、私は特に決めていた志望業種がなく、ただ何となく就職活動をしていました。しかし、それでは駄目だと思い、キャリア支援課に相談した結果、しっかりとビジョンを持つことができました。企業の様々な情報、エントリーシートのチェックや書き方、面接において気をつける点、自分が何が出来ていて、何を注意すべきかなど、いろいろとアドバイスをいただきました。これが大きな自信となり、企業の選考の際には自信を持って挑むことが出来ました。それからは、業種を絞った活動をすることができました。上手いかわかった企業もありましたが、それが一層の励みとなりました。そして、新日本ガスさんから内定を頂くことができました。私がこの就職活動で感じたことは、しっかり自分の意思を持ち、諦めずに努力すれば必ず良い結果が生まれるということです。

厳しい環境の中、内々定者続出
経営学部全国4位の実績
岐阜経済大学の就職事情



岐阜経済大学を卒業した後、この西濃地域に留まって就職する人、出身地に戻って就職する人など希望はさまざまです。就職先が内々定している学生の就職活動の様子も紹介しながら、本学の就職事情を見てみましょう。

キャリア支援課長の声

世の中で「新就職氷河期」といわれた今春の本学卒業生は、就職率及び就職先に於いても大いに奮闘いたしました。特に経営学部は、学部別就職率が全国大学4位という素晴らしい結果を出し、在学生やOB他大生関係者に勇気と誇りを与えてくれました。来春卒業予定の本学学生は、昨年以上に厳しい就職環境の中「先輩に続け」と頑張っています。このページに記載の内々定者

は一部の学生ですが、内々定を取得した皆さん、本当におめでとう。

また就職活動中の皆さんには、まだまだ採用窓口を開けている企業は多くあり、全国で多くの大学生が希望を持って活動していることを分かって欲しいです。キャリア支援課では、学生諸君と「最後まで諦めない気持ち」を共有し未内々定者を応援します。

在学生の皆さんも、就職などの進路について悩みを抱えている方は気軽にキャリア支援課を活用してください。

岐阜県



松原 千里さん 株式会社大垣ケーブルテレビ内々定

経営情報(現情報メディア)学科4年 県立岐阜商業高校出身

大垣市内の会社から内々定を頂きました。地元志向でしたので、地元企業から自分が本当にやりたい職業、自分にあった企業はどこなのかを分析し、受ける会社を決めました。その結果、1社受けてその会社から内々定を頂きました。就職活動では、「とりあえず内定が欲しい」という気持ちで闇雲に試験に臨むなら必ずボロが出ます。まずは自分が本当にやりたい職業を見極め、その上で企業分析をすることが大切です。また、周囲に相談しアドバイスを得ることが非常に有益です。特にキャリア支援課の方々、些細なことでも真摯に相

談にのって下さいますのでとても頼りになります。周囲のサポートをおおいに活用することも、就職活動で強みになります。

また、就職活動の一番の武器は、「自分を誇れること」だと思います。みなさん、大学生活で形に残せた物はありますか?誰よりも輝いていたものはありますか?何も輝くものを持っていなければ、何も努力したことがなければ、企業も周囲も認めてくれません。どんな小さなものでも、自信を持って誇れるものを見つけ、学生生活で積み上げていってください。これは就職活動だけでなく、人生においても大切なことだと思います。最後に、すべての学生の方が充実した学生生活になるように願っています。

インターンシップを実施。

8月から9月にかけて、3年次生は、インターンシップ生として各企業にて就業体験をします。今年のインターンシップは下記の企業にお世話になります。

2010年度インターンシップ実習先企業

実習先	事業内容	実習人数
大垣市役所	地方行政	1名
(株)大垣共立銀行	銀行業	1名
(株)十六銀行	銀行業	1名
日興コーディアル証券(株)	証券業	3名
ヒロタ(株)	総合アパレルメーカー	1名
岐阜トヨベツ(株)	自動車販売業	1名
(財)岐阜県イベント・スポーツ振興事業団	スポーツ振興	1名
(株)ヒマラヤ	総合スポーツ用品専門店チェーン	1名
(有)ガスボシオカ	スポーツ用品専門店	1名
ルネサンス 静岡	スポーツクラブ	1名
ルネサンス リオワールド岐阜	スポーツクラブ	1名
名鉄観光サービス(株)	旅行業	2名
ホテルグリーンプラザ白馬	ホテル業	1名
シルクホテル 中田製糸(株)	ホテル業	1名
ザ・テラスホテルズ(株)	ホテル業	1名
(株)近鉄ホテルシステムズ岐阜都ホテル	ホテル業	1名
(株)アスピカ	冠婚葬祭業	1名
三交伊勢志摩交通(株)	一般乗合旅客自動車運送業	1名

石川県



山下 翔太郎さん

リコージャパン株式会社内々定

経済学科4年 遊学館高校出身

私が就職活動で苦勞したことは、ある日から突然に学生生活において就職活動を始めなければいけないと自分自身で感じ、頭の切り替えをすることでした。

就職活動を始めるきっかけになったのは、地元の友人に就職活動の話聞いたことです。そして地元の石川県で行われました合同説明会に参加し、今の時代が大変な就職難であるという現実を痛感しました。それ以降私の中で、「就職活動を積極的に行おう」という意識が高まりました。

具体的には、昨年の12月頃からキャリア支援課を利用するようになり、大学で行われました就職活動特別講座や学内企業説明会などに参加しモチベーションを高めました。

私の場合、学内企業説明会に参加した際、リコー中部株式会社との出会いが大きなきっかけとなりました。採用担当の方から「求めている人材」の話を聞いてとても関心を持ち、この企業を受けようという思いが強まりました。そして私にとっては長く感じた就職活動でしたが、自分が納得できる企業に内々定を頂くことができました。この内々定を頂く事が出来たのは、両親、友人、特にキャリア支援課の先生方のおかげだと感謝しています。

今後は、就職してから仕事をするにあたっての必要な資格を取得するなど自分のスキルアップを図るとともに、最後の学生生活を満喫したいと考えています。

愛知県



渡邊 和馬さん 日本耐酸塩工業株式会社内々定

スポーツ経営学科4年 三好高校出身

就職活動は、3年の10月から始めました。最初は、SPIや一般常識を中心に基礎学力をつけるための勉強をしました。大変だったことは部活動との両立でした。練習や試合は就職活動という理由で休みたくなかったため、時間ぎりぎりまで練習してそのままスーツを着て説明会や試験に行きました。基本的に、練習や試合の日程に重なる企業は受けませんでした。就職活動で心がけていたことは、自分はやりたい仕事が決まっていなかったため、合同説明会に行きいろいろな企業の説明を聞きました。

あとは採用されなかった企業は縁がなかったと思い、気持ちを切り替えて活動を行いました。キャリア支援課の利用は、合同説明会に行くときにどの企業が自分に向いているのかキャリア支援課の方とも相談し、その企業を中心に聞きに行きました。就職の情報はキャリア支援課が一番頼りになるため、毎日キャリア支援課に行き企業の情報収集をしました。キャリア支援課の皆さんは、とても優しく、分からないことは何でも答えて相談のってくれるため、友達と毎日通っていました。今後の抱負は、就職活動を終え、部活動に集中できるようになったため、最後の大学サッカーを楽しんでいきたいです。

三重県



堀田 菜希さん 株式会社大垣共立銀行内々定

スポーツ経営学科4年 鈴鹿高校出身

就職活動を始めたのは3年の2月からで、そのころ周りの友達ももうアクティブに活動しており、かなり出遅れたと感じ焦りました。それからは就職活動の中で何をすればいいかわからないときは、まずキャリア支援課に駆け込みました。エントリーシートで、自分のアピールしたいところをうまく簡潔に書けず、中途半端な内容でキャリア支援課に持っていったのですが、添削していただきました。その他にも、合同説明会の企画等を探していただいたりしました。面接練習は部活動(ボート部)で日ごろお世話になっている先生に行っていたいただき、言葉遣いかわ

ら、面接内容まで忙しい中ご指導いただきました。

私は、ボート部の活動を通じて大垣共立銀行様にお世話になりました。行員の方々は、初対面から気さくに接していただき、練習では時に厳しい指導もうけました。この銀行は、とても人を大事にしているのだという印象が強く、そういった方々の中で仕事がしたいという気持ちが膨らみ志望しました。残りの学生生活では、部活動と卒業論文制作に力を注ぎ、悔いのない日々を過ごしたいと思います。

私は、学校生活でも就職活動でも多くの方に支えていただきました。これからも、常に感謝の気持ちを忘れずに社会人として成長していきたいです。

ハリヨと私

私たちの日常生活の中における
保全への意識こそが重要なのです。



経済学部教授

森 誠一 先生

私はこの20数年、ハリヨを含むトゲウオを中心に研究してきましたが、同時に、研究成果をいかに保全に活用できるかを思索し、実際に保全活動を地域住民やいくつもの行政とともに続けてきました。また、それを持って行政機関に口参し、生息減少の状況や保護措置を訴えたり、学校や自治会などの場で科学的成果に基づき保全の重要性をできるだけリアルに伝えるように講演したりしてきました。

現在、ハリヨは岐阜県と滋賀県にある一部の湧水地にのみ生息しています。遺伝学的分析によると、両県産のハリヨは数十年前から分化をし、個別の遺伝集団を形成していることがわかりました。このことは、安易な放流を回避する必要性を意味しています。こうした科学的成果の社会的還元も、環境保全における研究者の役割の一つであると思われまふ。ちなみに、岐阜県のハリヨは、トゲウオ科としての世界的な最南限の集団であります。

ハリヨは元来、北方系の魚類であり、夏期でも高水温にならない湧水域が必須であります。現状の生息減少は、湧水の消失を原因としてしています。このような豊かな湧水は、西美濃の大きな自然的特徴であり、多くの集落を形成する要因となっております。

効果的な保全には、地域住民、行政、研究者の



PROFILE

三重県出身。ハリヨなどの社会生態研究で、理学博士を京都大学で取得。専門は進化生態学、社会行動学、環境保全学。福井県大野市「イトヨの里」館長を兼ね、東京農工大学、国土交通大学校などでも講義をもつ。国県市の行政各種委員、福井県、愛知県の文化財審議委員、「日本水大賞」審査員などを務める。応用生態工学会(編集長)、日本魚類学会(外来魚検討部会長・評議員)、生き物文化誌学会(理事)など。第12回生態学琵琶湖賞を受賞。著書に「トゲウオのいる川」中央公論社、「トゲウオ、出会いのエソロジー」地人書館、「トゲウオの自然史」北海道大学図書刊行会、「淡水生物の保全生態学」環境保全の理論と実践、全4巻「希少淡水魚の現在と未来」信山社など、また学術論文はNature誌やリンネ協会など含め多数。現在、ハリヨ映画第3作『はりんこ ざわめく自然』を編集集中。

間で、科学的知見の進展やそれを共有できる体制こそが不可欠です。その体制の構築を、私は1980年代後半から「環境保全の三位一体」と称してきました。最近になって、こうした視点から、ハリヨを対象とするだけでなく、いくつもの保全活動が実施されるようになってきました。つまり、科学的根拠や行政的法整備だけでなく、私たちの日常生活の中における保全への意識こそが重要なのです。



近著紹介

留学生のための 分野別語彙例文集(第2版2刷)



2010年7月 凡人社

加藤由紀子 准教授
共同執筆

本書は、大学入学試験を目標としている日本語学習者、および大学でレポートを書くという課題に挑戦している日本語学習者を対象とした上級者向けの日本語習書です。小論文問題に出現された話題から中心的分野を選び、それぞれ主要語彙を選択し、その同意語、反意語、熟語、複合語を提示しています。すべての語には、英語・中国語・韓国語訳と例文が付けてあり、語の使用法だけでなく、例文の内容からそのトピックについての基礎的知識が自然に身につくように編集してあります。

加藤准教授は、1章「国際関係と英語訳を担当されています。また、他の章も本学の非常勤講師が担当されています。

趣味拝見

「郷土力」(ふるさとへの思い入れの程度)の育成をもって、地域活性を展開することを多面的な観点からアプローチすることに関心があります。その研究進展のためにも、民俗学者の柳田国男にハマっています。専門的勉強といえるほどではないので、刺激的な著作を読んでいるという程度ですが、また、いわゆる趣味としては、クラシック音楽をよく聞きます。数千枚以上のLPやCDを所蔵しています。王道としてモーツァルト、ベートーベンは当然としても、特にワーグナー、ブルックナー、シェスタコーヴィッチを好み、指揮者や演奏者に関して蘊蓄談義をします。

地域の調査研究に 励んでいます。

（竹内経営学部教授研究報告）

2009年度には、外部委託の調査を3件行いました。一つは経済産業省の「地域総合健康サービス産業創出事業」です。これは、高齢化社会が進むなかで、予防医療的な役割を果たすサービス産業の創出を図るものであり、ケーブルテレビの活用について調査しました。

二つ目は岐阜県から委託を受けた「若者の消費動向等調査」です。今の若者はものを買わず、車や海外旅行といった、私たちの世代ならば誰もが憧れたものに関心が低いといわれます。では、どんなところに消費の関心があるのか調べるべく、多くの方からの協力を得て岐阜県愛知県で5722件の有効票を集め分析しました。調査結果は、毎日、中日、岐阜の各紙に取り上げられました。注目を集めたのは、おしゃれ着の購入に、名古屋に出かけるよりもショッピングモールでの買物が多かったことです。他の買物についても全国的にショッピングモールが支持されていました。日本の郊外で全体に起きていますが、数字で結果に表れましたので注目されました。ネット配信された新聞記事を題材にネット上で随分、議論があったようです。



他に、大垣商工会議所で産業観光調査を行いました。成果の一部は冊子と大垣商工会議所のHPにまとめられました。大垣商工会議所のHPから西美濃地域産業観光ガイドに進んでみてください。「写真で振り返る西美濃今昔」の所で、開設もない本字と現在の本字の姿を比較できます。今年度はさらに大規模に「岐阜県少子化実態調査・分析事業」を受託しています。

大垣商工会議所で 「産学等連携懇談会」が開催され、 連携協定に調印しました。

6月23日（水）、大垣商工会議所で産学等連携懇談会が開催され、連携協定に調印しました。懇談会は、昨年度末で大垣地域産業振興センターが、発展的に解消し、連携事業を同会議所が引き継ぐことになったため、改めて連携を強めようとなつた催されたものです。

懇談会には、本学の他に、岐阜大学、早稲田大学、中部大学の各大学、岐阜工業高等専門学校、大垣共立銀行、大垣信用金庫の7代表と大垣商工会議所幹部ら約20名が参加しました。

今後、創業人材育成事業や出前経営相談会へのコーディネーター派遣などの産学連携事業を計画しています。

小川信也 大垣商工会議所
会頭(左)と
谷江幸雄 本学
学長(右)



（財）大垣市体育連盟と 連携協定を締結しました。

5月13日（木）、大垣市総合体育館において、本学と（財）大垣市体育連盟は、スポーツの普及・振興を図ることを目的に、連携して協力することに合意し、連携協定を締結しました。

（財）大垣市体育連盟は、アマチュアスポーツを普及振興して、市民の体力向上を図るとともに地域社会の発展に寄与することを目的としています。これまでも本学と（財）大垣市体育連盟は、施設・設備の有効活用、地域のスポーツイベント、国際交流などの事業で連携してきました。今回、協定を締結することで相互の協力・連携を一層強化し、2012年度の「ぎふ清流国体」、「ぎふ清流大会」の成功に向け、全面的な協力体制を構築します。

主な協定内容

1. スポーツを通じた心身の健康・体力づくり等、双方のもつ人的資源や施設・学生や地域のスポーツ団体等を活かしながら「暮らしにスポーツのある都市—大垣」づくりを進め、地域の活性化や地域課題の解決に取り組む。

2. 新たな取組として、連携事業による「おがきっすスポーツスクール」を実施し、低学年のスポーツ活動への参加拡大と指導プログラムの開発、指導者養成を図り、青少年のスポーツ振興に努める。

3. 指定管理者として、（財）大垣市体育連盟が管理する体育施設について、事業計画書に沿った着実な事業を推進するため、本学の人的資源を活用したモニタリングを実施し、さらなる効率的な施設運営に努める。



大垣東高校と高大連携事業を実施しました。

6月24日(木)、大垣東高校の理数科1年生40名を対象に岐阜県世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふにおいて、高大連携事業を実施しました。

大垣東高等学校の理数科の特色として、「身近な自然の素晴らしさを発見し、地域の自然の素材を活かした理科学習を行うこと」があり、身近なところに絶滅危惧種「ハリヨ」が生息する湧水の池が豊富にあるため、野外観察を含む総合的な活動を毎年実施しているそうです。今回の事業は、その総合的活動の一つとして、ハリヨのようなトゲウオ科研究の第一人者である本学の森誠一教授の指導を受けたいと依頼があったものです。当日は、森教授が講座の講師となり、館内見学、魚の解剖、バックヤードツアー、森教授の講義というプログラムで進行しました。森教授は、講義以外にもアクアトの飼育係の方が指導している生徒の皆さんの魚の解剖教室を訪ね、解剖の仕方の助言も行いました。

「絶滅危惧種『ハリヨ』の観察と生息地の環境保全を考える」をテーマに行った森教授による1時間の講義では、水の大切さについて(川の水が飲料水、工業用水になること)、西美濃は、生物地理学的境界にあり、北はアムール川、南は長江、北と南の生物がぶつかることであり、多様な水環境が多様な生物を育てているなど興味深い説明がありました。最後に「ハリヨ」の生息地が埋め立てなどによりざわめかない自然になっていること、最近の調査研究である滋賀県地蔵川の「ハリヨ」が岐阜県のハリヨや外来種である「イトヨ」が混入したことなどにより、違う魚になっていることなど説明し、地蔵川の事件について「我々は何を守ったらよいのか」という森教授の問いかけに生徒の皆さんも真剣な表情で聞き入っていました。

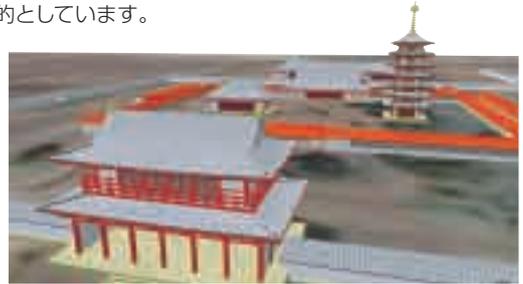


キャンパス 彩々 Campus Saisai

杉原教授の研究が、文部科学省科学研究費補助金対象研究に採択されました。

杉原健一教授のテーマ「Webベースの遺跡等の3Dモデルを自動生成する考古学、街づくり支援システム」が、文部科学省科学研究費補助金対象研究に採択されました。期間は2010年から2012年までの3年間です。

遺跡など、かつてあったであろう建物等を復元する3次元モデルを自由に観察できるシステムがあれば、多くの住民が発掘調査や考古学研究の成果を理解でき、まちづくりにも役立つというものです。また遺跡や中世・近世の街並み、城郭等を復元する3次元モデルは、様々な分野で活用が期待される重要な「情報基盤」であります。それは、1)埋蔵文化財の発掘調査を行う行政 2)資料館及び博物館 3)観光協会 4)文化財保存・復元を行うNPO法人 5)教育機関 6)町並み整備を行う行政の分野です。しかし、復元する3次元モデルを作成するには、CGソフトを用いて、多大の労力と時間が必要です。そこで、本研究では、これまでの研究成果である「電子地図に基づく3次元都市モデルの自動生成システム」を発展させ、「遺跡や中世の街並み等を復元する3次元モデル」を自動生成し、Web上にその3次元モデルを展開し、共有・更新を行える「Webベースの遺跡等の3次元モデルを自動生成する考古学研究、まちづくり支援システム」の開発を目的としています。



マイスター倶楽部が活動報告会を開催しました。

4月26日(月)、まちなか共同研究室にて、マイスター倶楽部の「2009年度活動報告会」を開催しました。

この報告会は、前年度の活動で支援をいただいた皆様へ感謝をこめ、またこの春から加わった2年次生の紹介を兼ねて実施しています。当日はマイスター倶楽部を支える四者協定(大垣市、大垣商工会議所、大垣市商店街振興組合連合会、岐阜経済大学)の関係者をはじめ約30名が参加しました。

報告会は、学生代表である佐藤聡紀さん(経済学科4年 能代高校出身)の挨拶にはじまり、現在同倶楽部で活躍している5グループの活動報告を行いました。

①まちかど保健室グループ

性講座を通して若者達と交流し、性に関する正しい知識をもらおう。ピアカウンセリングを通じて、若者の抱える悩みを聞き、一人ではないという意識をもたせる。

②防犯コミュニティ研究グループ

防犯見回り活動、防犯啓蒙活動等を通じた犯罪をおこしにくいまちづくり、地域づくりを実践。

③TMN(土まるけネットワーク)&フェアトレード研究グループ

大垣駅前商店街で、自ら生産に携わった減農薬野菜を販売することにより、商店街に賑わいを創出、合わせて地産地消の大切さや魅力を伝える。

④大垣市かがやきまちかど講座事業

「まち」を生涯学習の場として捉え、市民自ら講師となって、その能力や個性を発揮し、市民の学びの場を創出する。

⑤商店街活性化イベント調査事業

新たな共同財の創造による文化芸術支援の条件を検討、「大垣まち歌舞伎」を事例として選択。

この日は、マイスター倶楽部と同様、大垣市に拠点を置き活躍しているソフトピア共同研究室の学生達による、QRコードを使い「現実空間のモノと情報資源のスペースを一体化するシステム」の報告も行いました。



揖斐高校で高大連携出張講座を行いました。

7月21日(水)、岐阜県立揖斐高校において、樋下田邦子経済学部准教授、山田武司経済学部准教授が、同校の生活環境科 福祉コースの2年生29名に対して出張講座を行いました。

前半は樋下田准教授が「地域づくり、街づくりとボランティア」のテーマから、自分の強み、弱みを知ることを目的に授業が行われました。

まず、最初に「エゴグラム」という分析法で自分を分析することから始まりました。北澤先生(揖斐高校)も授業に参加し、先生の分析結果をサンプルにして、自分はどんなタイプの人間なのかを知ること、また「ボランティア」とは、自己満足でなく、相手を思いやる気持ちが大切であるということ学びました。また樋下田准教授は「信頼」とは、相手が裏切るかもしれないが、自分を裏切らない期待であること、様々な人と信頼を結ぶことが重要であることを説明しました。

後半は、山田武司准教授が「コミュニケーションの方法」をテーマに授業を行いました。最初に2人1組になって「相手をほめること」、会話で、「①相手の話を無表情で聞く」「②相手の話を相槌し

ながら聞く」という2つの方法でコミュニケーションを図ることを行いました。生徒からは、「ほめてもらうことは、恥ずかしかったけどうれしかった」、「無表情は、話しづらく、話す気持ちがなくなる」という感想が述べられました。

次に3~5人でグループを作り、「①家族で旅行に出かけます。家の駐車場の前に駐車車両がとまっているため出かけられません」「②アパートの上の住人が、いつも夜中に洗濯し、うるさくて眠れません」「③夜の3時に友達から電話がかかってきました。翌日は試験があります」といった「困った」シチュエーションが設けられ、相手を傷つけず、自分の主張をするにはどうしたらよいかグループ毎に考え、発表しました。

受講した生徒のみなさんからは、「授業が楽しかった」、「貴重な体験ができました」などの感想が聞かれ、充実した講座になりました。



フレッシュマンエクスカージョンを実施しました。

5月22日(土)には、経営学部情報メディア学科とスポーツ経営学科が、6月9日(水)には、経済学部のフレッシュマンエクスカージョンを実施しました。

このエクスカージョンは、いわば「体験型の見学会」で、経済学部、経営学部の学生達がそれぞれの学修内容に関係の深い場所(施設・企業・地域)を訪れ、現地で目に入る様々な事物・事象について理解を深めるものです。

情報メディア学科は、ソフトピアジャパン及びコロナワールド大垣を見学しました。ソフトピアでは、本学の共同研究室の活動を知るなどして地域の情報化や情報技術経営を学修しました。コロナワールド大垣ではCG技術の体験を目的に映画「タイタンの戦い」を鑑賞しました。

スポーツ経営学科は、プロスポーツビジネスのあり方を考える契機とすべく、岐阜県スポーツ複合施設である岐阜メモリアルセンター長良川球技メドウを訪問、JリーグFC岐阜のホームゲーム「水戸ホーリーホック戦」を観戦しました。

経済学部の経済学科と臨床福祉コミュニティ学科は、岐阜県淡水魚園水族館アクア・トトぎふを訪問し、岐阜県の河川環境、そこに棲む希少な水生生物を見学し、岐阜県の自然の豊かさとし、しながらそれらの多くが絶滅の危機に瀕している厳しい環境であることを学修しました。

どのエクスカージョンも、新入生同志、これから学生生活を過ごす仲間と親睦を深める機会ともなりました。



HIGE☆BUと日中わいわい会が中国青海省地震の募金活動を行いました。

4月21日(水)~27日(火)にかけて、昼休み時間帯にボランティアサークルの「HIGE☆BU」と今年度設立された国際交流サークルの「日中わいわい会」が協力して、4月14日に発生した中国青海省大地震に対する募金活動を行いました。

「HIGE☆BU」代表の平松昌也さん(臨床福祉コミュニティ学科3年 木曾川高校出身)は、日頃からペットボトルのキャップを集め、ポリオワクチンを中国雲南省に送る活動を進めています。今回、報道等で現地の惨状を知り、何かできることをと思い、募金活動を始めたとのこと。彼は元々は別サークルの「日中わいわい会」にも所属しており、部員に協力を呼びかけ、合同での募金活動が行われました。

募金は全部で、50,693円になり、4月27日(火)、日本赤十字社に送金しました。



留学生別科生が日本語研修のため、日本人家庭を訪問しました。

留学生別科の学生が5月29日(土)~30日(日)、6月12日(土)~13日(日)の2回に分かれ、日本語や日本の文化を学ぶため日本人の家庭で、ホームステイを行いました。

今回のホームステイに参加したのは7名の別科生で、「ヒッポファミリークラブ」を通じてホストになってくださった6家族の方のお宅に一泊しました。ホームステイ中は伊吹山や金華山へ登ったり、博物館で着物や兜を身につけたり、紙すきをしたりパーベキューやゲームをしたりと、各家庭でそれぞれいろいろなことを体験しました。またお寿司やお味噌汁、鰻、日本の風呂や畳の上での生活が初めての経験である学生もいて、日本を今まで以上に身近に感じたようです。ホストの方からは、「この2日間で話術が成長していくのを感じた」という言葉をいただき、寝食を含め日本語だけで過ごす環境の大切さを感じました。ホームステイに行く前は「日本語が上手ではないので心配だ」「緊張して眠れない」と言っていたのですが、戻ってきた後は、自信に満ちた顔つきで「楽しかった」という声が一様に聞かれました。ホスト家族との生活を通して、日本語を話すことに自信を深めた学生は、その後の大学での日本語の勉強によりいっそう励むようになっています。



(2)消費収支計算書

「消費収支計算書」は資金の移動を伴わないもの(現金の出入りの他に消費していくもの)として、減価償却額や退職給与引当金繰入額などを計上し、当該会計年度の消費収入及び消費支出の均衡状態を表したものです。学校法人の経営状況を示すもので企業会計の「損益計算書」に当たるものです。消費収支計算書については、収支科目の多くが資金収支計算書の収支科目と共通していますので、消費収支固有の内容について主なものを説明します。

①収入の部

消費収入の部では「学生生徒等納付金」から「雑収入」までを帰属収入といいます。帰属収入は学校法人の負債(返済義務のない収入)とされない収入のことです。したがって資金収支計算書の収入から資金の動きだけを示す「前受金収入」、「その他の収入」、「資金収入調整勘定」等は除かれます。

〔寄付金〕

一般寄付金の他に現物寄付金を計上しています。今年度は、団体、個人から寄贈された図書799冊、294万円、科学研究費補助金からの機器備品20万円を受入れています。

〔基本金組入額合計〕

教育研究活動を行うために必要不可欠な資産(校地、校舎、機器備品、図書等)を継続的に保持するために、帰属収入から組入れた(控除した)金額です。今年度は、CAD教育用パソコン、野球場防球ネット、図書等に要した費用から食堂厨房機器等の処分費用を控除した100万円を組入れました。

②支出の部

資金収支計算書の支出科目から、「施設関係支出」、「設備関係支出」、「その他の支出」等を除きますが、消費支出として「教育研究経費」および「管理経費」には各々減価償却額を加算し、減価償却額は

建物、機器備品などの固定資産の当期償却額を計上しています。

以上の結果、消費収支では、帰属収入合計額から基本金組入額と消費支出合計額を差し引いた当年度消費収支差額は3億2,851万円の支出超過となりました。

また、前年度からの繰越消費収入超過額から当年度消費支出超過額を差し引いた翌年度繰越消費収入超過額は23億5,582万円となりました。

消費収支計算書 平成21年4月1日～平成22年3月31日まで

科 目	平成21年度	平成20年度	前年度比
消費収入の部			
学生生徒等納付金	1,319,863	1,233,174	86,689
手数料	24,195	24,765	△ 570
寄付金	19,495	149,390	△ 129,895
補助金	208,137	356,796	△ 148,659
資産運用収入	122,976	261,374	△ 138,398
資産売却差額	0	1,225	△ 1,225
事業収入	44,190	26,464	17,726
雑収入	67,420	61,956	5,464
帰属収入合計	1,806,278	2,115,148	△ 308,870
基本金組入額合計	△ 1,003	△ 1,451	448
消費収入の部合計	1,805,275	2,113,697	△ 308,422
消費支出の部			
人件費	1,109,290	1,141,509	△ 32,219
教育研究経費	782,203	778,169	4,034
(内減価償却額)	225,392	245,398	△ 20,006
管理経費	238,797	214,098	24,699
(内減価償却額)	25,554	25,489	65
資産処分差額	3,499	1,471,385	△ 1,467,886
消費支出の部合計	2,133,791	3,605,162	△ 1,471,371
当年度消費支出超過額	328,516	1,491,465	△ 1,162,949
前年度繰越消費収入超過額	2,684,336	4,175,802	△ 1,491,466
翌年度繰越消費収入超過額	2,355,820	2,684,336	△ 328,516

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。(単位 千円)

資金収支計算書 平成21年4月1日～平成22年3月31日まで

科 目	平成21年度	平成20年度	前年度比
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,319,863	1,233,174	86,689
手数料収入	24,195	24,765	△ 570
寄付金収入	16,350	148,103	△ 131,753
補助金収入	208,137	356,796	△ 148,659
資産運用収入	122,976	261,374	△ 138,398
資産売却収入	0	596,750	△ 596,750
事業収入	44,190	26,464	17,726
雑収入	67,420	61,956	5,464
前受金収入	258,450	272,887	△ 14,437
その他の収入	261,967	2,239,867	△ 1,977,900
資金収入調整勘定	△ 370,397	△ 464,047	93,650
当年度収入の部小計	1,953,153	4,758,092	△ 2,804,939
前年度繰越支払資金	2,550,420	2,625,273	△ 74,853
収入の部合計	4,503,573	7,383,365	△ 2,879,792
支出の部			
人件費支出	1,129,223	1,159,868	△ 30,645
教育研究経費支出	557,149	532,745	24,404
管理経費支出	213,562	188,570	24,992
施設関係支出	17,670	432,762	△ 415,092
設備関係支出	29,901	40,509	△ 10,608
資産運用支出	0	2,444,899	△ 2,444,899
その他の支出	52,931	65,989	△ 13,058
資金支出調整勘定	△ 32,483	△ 32,399	84
当年度支出の部小計	1,967,955	4,832,945	△ 2,864,990
次年度繰越支払資金	2,535,618	2,550,420	△ 14,802
支出の部合計	4,503,573	7,383,365	△ 2,879,792

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。(単位 千円)

(3)貸借対照表

「貸借対照表」は年度末3月31日における資産、負債及び基本金等の状況を表したものです。負債は、退職金の支給に備える準備金である「退職給与引当金」および「前受金」として今年度に受入れる次年度入学生生の授業料等です。

資産の部の合計は、150億2,984万円となり、前年度末に比べて3億6,520万円減(2.4%減)、負債の部の合計は、9億7,916万円となり、前年度末に比べて3,769万円減(3.7%減)、基本金の部は、116億9,486万円となり、前年度末に比べて100万円の微増となりました。この結果、資産の総額から負債の総額を差し引いた「正味財産」は140億5,068万円となり、前年度比3億2,751万円(2.3%減)の減少となりました。

貸借対照表 平成22年3月31日

科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	12,395,909	12,619,639	△ 223,730
有形固定資産	6,533,966	6,737,696	△ 203,730
その他の固定資産	5,861,942	5,881,942	△ 20,000
流動資産	2,633,940	2,775,417	△ 141,476
資産の部合計	15,029,849	15,395,056	△ 365,206
負債の部			
固定負債	671,219	691,152	△ 19,932
流動負債	307,942	325,703	△ 17,761
負債の部合計	979,161	1,016,855	△ 37,694
基本金の部			
第1号基本金	11,492,867	11,491,863	1,003
第2号基本金	0	0	0
第4号基本金	202,000	202,000	0
基本金の部合計	11,694,867	11,693,863	1,003
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	2,355,820	2,684,336	△ 328,516
消費収支差額の部合計	2,355,820	2,684,336	△ 328,516
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	15,029,849	15,395,056	△ 365,206

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。(単位 千円)

平成21年度決算報告

●事業の概要

本学は、地域に有為な人材を養成するという建学の精神のもと、平成19年度から2か年にわたる創立40周年記念事業の一環として、「岐阜経済大学50周年ビジョン」を策定しました。平成21年度は、同ビジョンに掲げる「アクション・プラン2009—2010」の実施計画を決定し、本学として初となる長期ビジョンに基づく開始年として学生教育・学生支援・教員研究・地域連携・魅力ある学部学科体制・運営体制をテーマとした諸事業に着手しました。

平成21年度における事業の概要は以下の通りです。

(1)学部学科の強化事業

- ・GPA制度の導入(学習支援に向けた新しい成績評価制度のシステム構築)
- ・フレッシュマンエクスカージョンの実施(長浜市歴史散策、FC岐阜サッカー試合観戦、ソフビアジャパン見学)
- ・地域スポーツマネージャー養成支援(スポーツイベントの企画、運営、実行の学習)

(2)教育活動・学生支援

- ・文部科学省「平成21年度大学教育・学生支援推進事業」テーマB学生支援推進プログラムの採択初年度事業実施(OB学生メンターによるキャリア教育の充実等)
- ・教育の国際化事業(上海财经大学・江西師範大学交換留学生の受入、海外語学研修派遣)

- ・奨学金事業(経済支援、資格取得・スポーツ優秀者等への奨学金給付)
- ・学生の質向上事業(ゼミナール大会、漢字・パソコン等検定の必須化)
- ・教職課程支援の充実(教員採用試験対策の実施)
- ・強化、準強化指定クラブ助成事業(硬式野球部・陸上競技部・ボート部・サッカー部・男子バレーボール部・女子バレーボール部への活動助成費)
- ・キャリア形成、就職支援事業(資格取得15講座・学内企業セミナー・インターンシップの実施)

(3)研究・産官学連携活動

- ・受託、共同研究事業(受託事業14件実施、うち2件はプロポーザル審査による採択)
- ・講師派遣、公開講座事業(小中高等学校への出前講座、公開講演会の実施)
- ・高大連携、共催講座事業(西濃地区5高校との「学び塾」開講、岐阜大学地域科学部との「街なかオープンカレッジ」開催、協定自治体・地元有力情報系企業との連携事業の実施、大垣市との「コミュニティカレッジ」開講)

(4)キャンパス整備事業

- ・CAD教育用パソコンの購入
- ・課外活動設備の充実(野球場飛球防止ネット設置)
- ・事務管理棟の外壁改修・屋上防水処理工事の実施

●財務の概要

学校法人岐阜経済大学の平成21年度決算については、去る平成22年5月26日の理事会並びに評議員会において承認されました。決算書類は「資金収支計算書」、「消費収支計算書」及び「貸借対照表」から構成されており、以下にその概要を説明します。

(1)資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度(4月1日～翌年3月31日)の諸活動に対応するすべての資金(現金の出入り)の動きを表したものです。資金収支の内容について、主な科目を説明します。

①収入の部

〔学生生徒等納付金収入〕

授業料、入学金、実習料、施設設備資金等の収入です。授業料納付学生数は1,420名、前年度比8,668万円の増加となりました。

〔寄付金収入〕

一般寄付金としてボート部寄付金781万円、親和会からのスクールバス運行費助成金654万円、財団法人からの外国人留学生奨学金200万円を受入れました。

〔補助金収入〕

国庫補助金、地方公共団体補助金の収入です。国庫補助金は2億398万円、地方公共団体補助金は、岐阜県からの進路選択学生等支援事業、大垣市からの中心市街地協働型まちづくり事業費合せて415万円を受入れました。

〔資産運用収入〕

定期預金等の受取利息収入1億1,457万円、本学施設設備の貸出利用料収入839万円です。

〔その他の収入〕

今年度は、減価償却引当特定資産、施設拡充引当特定資産の取崩しを伴う施設・設備の計画がありませんでしたので、前年度より約19億円減少しています。

②支出の部

〔人件費支出〕

専任教職員等の給与及び退職者への退職金支出等です。賞与支給割合の減額等人件費抑制により、前年度比3,064万円減少しています。

〔教育研究経費支出〕

学生への奨学事業(学費減免、資格取得者への奨学金等)、語学留学助成事業、課外活動助成事業などが主な支出で5億5,714万円となりました。

〔管理経費支出〕

1号館事務棟の外壁改修工事、留学生宿舎の賃貸借契約満了に伴うリニューアル費用、広告費等の学生募集経費が主な支出で2億1,356万円となりました。

〔施設関係支出〕

野球場飛球防止ネット設置工事を実施しました。

〔設備関係支出〕

情報メディア学科にCAD環境整備機器を購入しました。

以上の結果、次年度への繰越支払資金は25億3,561万円となり、前年度より1,480万円減少しています。

岐阜経済大学親和会総会・ 父母懇談会を開催しました。

学場 本会

去る6月19日(土)午前10時より、75名のご父母の皆様の出席を得て、2010年度親和会総会を開催しました。堀田浩一親和会長、谷江幸雄学長、浅野照章副理事長の挨拶の後、堀田親和会長の議事進行のもと各議案が諮られ、審議の結果、全ての議案が承認されました。

ひきつづき、父母懇談会の第一部へと移り、105名のご父母の皆様に参加を得て、鈴木誠経済学部教授より「地域に学び、地域をつくる実践教育」をテーマとした講演を行いました。

その後の学内施設見学では、日頃、学生が授業や休み時間に利用することの多いスタジオ実習室や体育館、図書館などを見学いただきました。

昼食は、食堂にて無料のキャンパスランチを体験していただき、皆様からご好評を得ました。

第2部の全体懇談会で、は、教学関係・就職関係の各部門別に大学側から行った説明に、熱心に聞き入るご父母の皆様の様子に日頃の関心の高さが伺えました。

その後、就職活動報告として恒見愛里さん(スポーツ経営学科4年安城学園高校出身)、学生生活報告として姉崎義樹さん(コミュニケーション福祉政策学科4年大垣東高校出身)、教職課程受講報告として高橋謙太郎さん(スポーツ経営学科3年添上高校出身)から各種報告を行いました。

全体懇談会後、希望者のみ個別懇談へと移り、単位取得状況や出席状況をはじめ就職活動や日常生活に関する質問など、各部署の担当職員がご父母の方々と懇談を行いました。

地方 会場

今年度は、沖繩県那覇市「ホテルJALシティ那覇」及び静岡県浜松市「グランドホテル浜松」の2会場において開催され、計67名の方に参加いただきました。同じ地域で同じ大学に通う子を持つ親同士の情報交換を行うなど和やかな雰囲気の中で会を進めることができました。

今後本会を大学とご父母の皆様、ご父母の皆様同士のコミュニケーションの場として積極的に活用していただきたいと思います。

来年度も是非、多数の参加をお待ちしております。



かがやきカレッジを 後期も開催します。

岐阜経済大学は、大垣市と共催で開講する生活に役立つ「かがやきカレッジ」の受講生を募集します。

●場所/岐阜経済大学 ●開始・終了時間/18:30~20:00

【受講料】 無料
【申し込み】 電話・FAX・メールにて希望する講座と氏名・住所・電話番号を岐阜経済大学総務課へ申し込みください
TEL:0584-77-3511 FAX:0584-81-7807
E-mail:soumu@gifu-keizai.jp

【申込み期間】 9月1日(水)~

かがやきカレッジ 2010 <後期講座>			
第1回	9/22(水)	やさしい3次元CG (コンピュータグラフィックス)(1)	杉原健一 経営学部教授
第2回	9/29(水)	やさしい3次元CG (コンピュータグラフィックス)(2)	
第3回	10/6(水)	グリム童話とその周辺(1)	山田善久 経営学部教授
第4回	10/13(水)	グリム童話とその周辺(2)	
第5回	10/20(水)	日本の社会保障(1)	菅谷広宣 経済学部教授
第6回	10/27(水)	日本の社会保障(2)	
第7回	11/10(水)	世界恐慌期の日本経済(1)	宇佐見正史 経済学部教授
第8回	11/17(水)	世界恐慌期の日本経済(2)	

役員の変更が行われました。

5月26日(水)開催の学校法人岐阜経済大学理事会並びに評議員会において役員の変更が行われました。地元政財界の強力な支援のもと、本学の経営陣が構成されています。

理事長

土屋 嶋 (株)大垣共立銀行 取締役頭取

副理事長

浅野 照章 (常勤) 説田 泰朗 (非常勤)

理事・評議員

西藤 公司 岐阜県副知事
小川 敏 大垣市長
岩井 哲二 大垣市議
田口 義嘉壽 セイノーホールディングス株
岩田 義文 代表取締役会長
小川 信也 イビデン(株)
堤 俊彦 代表取締役社長
河合 進一 日本耐酸工業(株)
堀 富士夫 河合石灰工業(株)
岩井 豊太郎 代表取締役社長
谷江 幸雄 岐阜県議会議長
木村 隆之 岐阜経済大学経営学部長
野村 敏雄 岐阜経済大学経済学部長
鈴木 誠 岐阜経済大学経済学部教授
中村 典子 岐阜経済大学経営学部教授
松井 典子 岐阜経済大学事務局長

評議員

浅野 圭一 東海サーモ株 代表取締役社長
一柳 正義 スイートラベル株 代表取締役社長
井上 豊秋 揖斐川工業株 代表取締役社長
今川 喜章 (株)丸順 代表取締役社長
岩崎 洋三 岐阜経済大学客員教授
小川 貴久 太平洋精工株 代表取締役社長
金森 伸泰 河合石灰工業株 代表取締役社長
河合 仲泰 北村医院院長
北村 良幸 サンメッセ株 代表取締役社長
田中 一巳 大垣信用金庫理事長
西脇 史雄 イビデン株 代表取締役社長
平林 佳郎 取組役 専務執行役員
三輪 高史 グレートンフォーメーションネットワーク(株) 代表取締役社長
山田 雄司 代表取締役社長
安田 益次 西濃ビル管理株 代表取締役社長
安田 清貴 画家 現代美術造形作家
浅井 鉄弘 岐阜県総務部長
武藤 良邦 神戸町議会議長
宮川 祐志 岐阜経済大学総務課長
安田 天 岐阜経済大学企画広報課長
上谷 月子 岐阜経済大学財務課長
釣 丈志 岐阜経済大学教務課長

監事

矢橋 慎哉 矢橋工業株 代表取締役社長
内田 一之 大垣市教育長

後期受講登録期間は 9月21日(火)・9月22日(水)です。

今年度の受講登録期間は、9月21日(火)・9月22日(水)の2日間です。登録漏れやエラーがないよう、資料をよく読んで、期間内に確実に登録を済ませてください。